

近年、映画はインターネットを経由し家庭などに配信されるようになってきました。海外の事情も含め「配信」という側面から、映画の魅力やパワーに迫るMPAセミナー「映画配信の将来」を第26回東京国際映画祭共催企画として開催します。

映画会社は世界で最もクリエイティブなコンテンツ・プロバイダーであるというだけではありません。映画会社は優れたハイテク企業でもあり、視聴者がどこにいても何らかの方法でコンテンツを観たいというニーズに合わせて、コンテンツを合法的かつシームレスに届けられるよう、常に革新を続けています。

その結果、今では人々は映画館だけでなく、自宅のスクリーンでもポータブルデバイスでも映画を楽しむ事ができます。デジタル配信の到来は今後映画界にどのような影響をもたらしていくのでしょうか。解決すべき課題は何でしょうか。このセミナーでは、国内外のオンライン配信の未来及びオンライン視聴体験の展開について迫ります。

ゲストには、映画の製作のほか、マーケティングや配給などにも携わったアイラ・ドイッチマン氏を迎え映画の将来について講演をしていただきます。また、日本・中国・アメリカで映画配信を事業としている企業より代表者をお招きし映画配信の将来についてパネルディスカッションを致します。



【アイラ・ドイッチマン氏】

- 米国 コロンビア大学 芸術科大学院教授(映画学科長)
 - エマージング・ピクチャーズ社 マネージング・パートナー ※ニューヨークを拠点としたデジタル配給サービス会社
- 1975年より、映画の製作の他、マーケティングや配給などにも携わり、インディペンデント映画史上最高傑作と言われる「マイ・プライベート・アイダホ」を含み、実に150本以上を超える映画に取り組んだ。
- (関連作品) 1991年公開「マイ・プライベート・アイダホ」ガス・ヴァン・サント監督作のマーケティング・コンサルティング担当
→ヴェネツィア国際映画祭・全米映画批評家協会賞・インディペンデント・スピリット賞で、リヴァー・フェニックスが主演男優賞を受賞

【イベント概要】

- ・名称 : 第26回東京国際映画祭 共催企画・MPA セミナー「映画配信の将来」
- ・実施日 : 2013年10月21日(月)
- ・実施時間 : 14:00 - 16:00 (開場 13:30)
- ・実施場所 : 六本木アカデミーヒルズ 49「オーデトリウム」(六本木ヒルズ森タワー49階)
- ・住所 : 東京都港区六本木6-10-2 六本木ヒルズけやき坂コンプレックス内

【スケジュール】

- ・14:00-14:20 ご挨拶
- ・14:20-14:35 基調講演Ⅰ「オンラインビジネスの急速な普及」(マイケル・P・オリリー氏)
- ・14:35-15:00 基調講演Ⅱ「劇場用映画のデジタル配信の発展と期待」(アイラ・ドイッチマン氏)
- ・15:00-15:45 パネルディスカッション
 - ・(株)ニワンゴ: 杉本誠司氏(代表取締役 社長)
 - ・Hulu: バディ・マリーニ氏(日本代表)
 - ・ヨウク/トゥードウ: シュ・フィロン氏(シニアヴァイスプレジデント)
 - ・(株)Gyao: 神谷寿彦氏(社長室 室長)
- ・15:45-16:00 Q&A(質疑応答)

- 主催: モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA) / 担当: 村上 (TEL)03-3265-1401
- 共催: 公益財団法人ユニジャパン
- 後援: 米国大使館 / 一般社団法人 映画産業団体連合会